

国際政治と超長期ビジョン

青山学院大学国際政治経済学部

◎太田 宏

2006年10月6日

話の内容

- 国際関係論における主な長期予測
- 資源・環境問題と紛争
 - ◆ 紛争と資源環境問題(急性疾患)
 - ◆ 長期的かつ地球規模の環境問題(慢性疾患)
- グローバル・ガバナンスの問題
 - ◆ 地球環境問題認識の高まり
 - ◆ 地球環境問題への取り組み
 - ◆ 地球環境ガバナンスとは
- 超長期のビジョン
 - ◆ 持続可能な発展
 - ◆ 望ましい世界観
- 地球環境ガバナンスの構造と課題

表1: 21世紀世界政治の予測 [モデルスキ&トンプソンによる要約]

モデルの特徴	ウォルツ	ハンティントン	モデルスキ/ トンプソン	ケネディ	フクヤマ	ウォラース タイン
時間の範囲	短期	短期 (21世紀 初期)	短期 / 長期	短期 (30年 間)	長期	短期 / 長期
21世紀のイ メージ	核の多極体制	地域 / 文化の 分裂 (状態)	民主的共同体 の出現	大混乱の可 能性あり	「歴史の終 焉」	二分極化の 危機の可能 性あり
主たるモデル の推進力	勢力均衡・勝 ち馬乗りによ るアナーキー な国際社会に おける自助	文化的親近性	進化・情報・ 革命・民主 化・世界世論	人口統計・ 技術変化 ; 不均衡な発 展	技術変化・ 自尊心	資本蓄積・ 不均衡な発 展
世界経済の拡 大	議論なし	議論なし	2000-26に高度 成長	前提 (条 件)	前提 (条 件)	2000-25
紛争の予測	複数列強間の 対立は抑制さ れる。	文明の衝突の 脅威	重大なマクロ な勝利 (決 定) 2026-2050	紛争の可能 性より高 くなる。	自由民主 主義の平和	高まる。
グローバルな 問題のアジェ ンダ	議論なし	文化的同一性 と卓越性 (を めぐる争い)	統合・ グローバルな 組織	人口・不平 等・環境	適用不能	福祉・プロ レタリア 化・環境
連合 / 提携	米国対その他 対抗しうる国	西洋対イスラ ム・中国文明	民主的共同体 の内外	議論なし	適用不能	日・米・中 対西欧・露

George Modelski & William R. Thompson, "The Long and the Short of Global Politics in the Twenty-first Century: An Evolutionary Approach," in *International Studies Review*, Vol. 1, Special Issue, 1999 (pp. 109-140), p. 117.

2. 紛争と資源環境問題 (急性疾患) : 紛争の介在的な要因としての環境問題

(1) 暴力的な紛争要因としての環境問題 (= 急性疾患)

基本的な問い

- 「環境の希少性」 (“environmental scarcity”)* は暴力的な紛争を引き起こすのか。
- ◆ もしそうなら、それがどのように作用するのか。

対象となる自然環境破壊の事例

- ◆ 優良な農業用地の土壌劣化や喪失
- ◆ 森林の破壊や喪失
- ◆ 淡水供給量の減少や水質汚染
- ◆ 水産資源の枯渇など

* この“environmental scarcity”という語句の意味としては、文脈によって「環境の欠乏あるいは(資源の)枯渇」という和訳も可能。

(2) 環境変化と暴力的紛争を関連付ける三つの仮説

資源枯渇型紛争仮説

グループ・アイデンティティー紛争仮説

経済的損失(起因)型紛争仮説

(3) 環境の希少性の要因

環境の変化

人口増加

社会的に不平等な資源の分配

(4) 三つの要因の相互作用による環境の希少性の増大

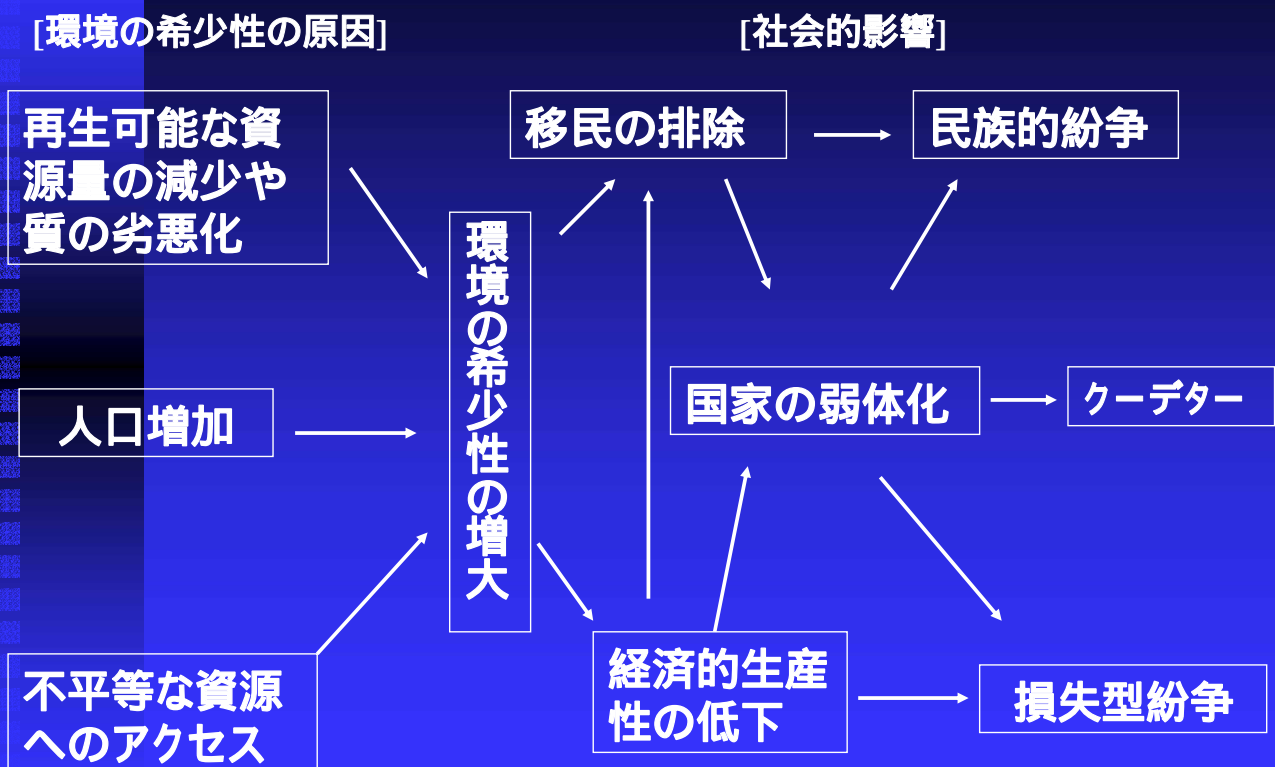
図-1 資源争奪



図-2 生態的限界



図-3 第2と第3の仮説融合モデル



Homer-Dixon, Thomas F. "On the Threshold: Environmental Changes as Causes of Acute Conflict," *International Security*, 16 (2), Fall 1991: 76-116 and "Environmental Scarcities and Violent Conflict: Evidence from Cases," *International Security*, 19 (1), Summer 1994: 5-40.

2.1 長期的かつ地球規模の環境問題(=慢性疾患)

- 温室効果ガスが引き起こす気候変動
- 成層圏のオゾン層の破壊
- 生物多様性の保全など

地球規模の環境問題の特徴と対処法

- 「慢性病」のような環境問題は、糖尿病などの成人病のように、日々徐々に自然界と人類社会の「健康」をむしばんでいる。
- 予防的対処法が有効でしかも対策コストも長期的には安くなる可能性大。
- しかし、抜本的な問題解決のためには、現在の経済・社会構造の変革と市民のライフスタイルの見直しが欠かせない。